



2014年 日本農芸化学会東北支部 市民フォーラム

東北・岩手を元気にする農芸化学(化学と生物)
—「地元研究者のメッセージから地域資源と食品と健康を考える」—

日時 : 平成26年10月18日(土)14:00~17:00
場所 : 岩手大学農学部・総合教育研究棟・7番講義室
参加費 : 無料(どなたでもご参加頂けます)

— プログラム —

- 14:00~14:10 日本農芸化学会東北支部長のご挨拶
西森克彦(東北大学大学院農学研究科)
- 14:10~14:45 『約8500万年前の久慈産琥珀からバイオの力で新規抗アレルギー活性物質を蘇らせる』
木村賢一(岩手大学農学部・応用生物化学課程)
(休憩)5分
- 14:50~15:25 『ニンジンやセロリに含まれる機能性物質の抗糖尿病作用』
吉田 潤(岩手医科大学・教養教育センター)
(休憩)5分
—平成13年盛岡三高卒—
- 15:30~16:05 『イサダでメタボ予防』
山田秀俊(岩手生物工学研究センター)
(休憩)5分
—平成11年盛岡一高卒—
- 16:10~16:45 『キリンの商品開発~お客様においしさをお届けするために』
横向慶子(キリン株式会社・飲料技術研究所)
—昭和55年盛岡一高卒—
- 16:45~17:00 総合討論

[お問合わせ] 木村賢一(岩手大学農学部・応用生物化学課程)
電話: 019-621-6124/E-mail: kimurak@iwate-u.ac.jp

